

2020

年度事業紹介

2020.4-2021.3

社会を変える 市民のチカラ



NPO高知市民会議は、市民活動の促進を支援する事業を行い、魅力ある地域の想像に寄与することを目的に活動を行っています。市民一人ひとりが持つ「社会を変える市民のチカラ」を支え、育み、伝え、繋がるさまざまな事業を行っています。

●お問い合わせ先

〒780-0862 高知県高知市鷹匠町2-1-43
高知市たかじょう庁舎2階
高知市市民活動サポートセンター内

電話 088-820-1540 FAX 088-820-1665
メール info@shiminkaigi.org (代表)
HP http://shiminkaigi.org

開館時間 月～金 10:00～21:00
土 10:00～18:00

休館日 日・祝・年末年始

駐車場 庁舎に駐車場はありません。

※高知市役所来庁者用駐車場(地下)および
県庁前通り地下駐車場をご利用の場合は駐
車券をご持参ください。駐車料金の一部を
減免処理します。

発行：認定特定非営利活動法人NPO高知市民会議

●会員制度について

NPO高知市民会議の活動を理解・応援してくれる個人や団体など、皆さんの入会をお待ちしています。私たちと一緒に活動していきましょう。

■年会費

正会員

個人 3,000円
団体 5,000円

賛助会員

個人 1,000円(1口)
団体 5,000円(1口)

■会員特典

- ・助成金やイベント情報等の定期便発送(※賛助会員には例外あり)
- ・当法人が発行する広報誌や刊行物の送付
- ・当法人が貸し出しを行う機材の使用料割引
- ・正会員のみ「総会」での議決権あり(※賛助会員はなし)

●当法人へのご寄付について

NPO高知市民会議では「活動全般」または「個別事業(わいわいくじら等)」へのご寄付をお受けしています。

当法人へのご寄付は税額控除など、税の優遇措置の対象となります。

ご寄付は以下いずれかの方法でお手続きをお願いします。

(銀行振込/窓口/クレジットカード決済)

ご寄付について事務局まで、お気軽にお問い合わせください。

私たちの活動をぜひご支援ください。

広報啓発

自主事業

わいわいくじらの発行

黄色い表紙が目印の「わいわいくじら」は、NPO高知市民会議が発行している情報紙です。夏休み、春休み前の年2回発行し、親子で参加できる催しや子育てに関する情報などを掲載しています。



高知市内の小学校を通じて全戸配布、幼稚園、保育所にも配布してきました。

1口1万円で発行をサポートして下さる企業や団体を募集するとともに、募金箱を賛同企業の店舗などに設置しています。

子どもたちの心身ともに健全な成長・発達を願う皆様からの寄付金で発行することができたことに感謝しています。これからも継続して発行できるよう、ご協力よろしくお願いいたします。

■募金箱設置場所

- イタリア料理ラ・ヴィータ
- 内田文昌堂/コマドリ卸団地店
- サニーマート18店舗/サンプラザ12店舗
- TSUTAYA(株)ウイル)5店舗/甫喜ヶ峰森林公園
- 龍馬の生まれたまち記念館
- こうち男女共同参画センター「ソーレ」
- ひろめ市場/高知市市民活動サポートセンター



調査研究

認定NPO法人日本NPOセンターより助成金

SAVE JAPAN プロジェクト



全国の環境系NPOと地域の皆さま、損保ジャパン(株)が協働し、全国各地の「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。

高知県では海洋ごみの現状やごみによる海の生きものへの影響、私たちにできることなどを

紹介した動画「ウミガメがやってくるビーチを守ろうビーチクリーンアップ大作戦!」を制作しました。多くの方に視聴いただき、私たちの生活から出るごみについて考えるきっかけづくりとしました。

(協働：NPO法人環境の杜こうち)



(動画QRコード)

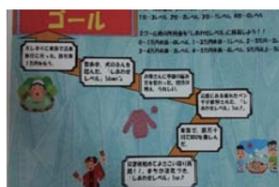


調査研究

高知市地域防災課より補助金

高知市地域防災活動担い手支援事業

防災活動の担い手が不足する地域へ高知大学、高知県立大学、高知工科大学の大学生を派遣し、当該地域において防災活動の企画、運営補助等を行いました。また、各大学の防災サークルが、今後地域で活用できる防災資機材を作成しました。



調査研究

高知県教育委員会委託事業

高知県多機能型保育支援事業

高知県内の保育所等(小規模保育所4ヶ所、保育所16ヶ所)において、地域の高齢者と子育て世代などの交流の場づくりを進めるとともに、地域の人材を活用して子育て支援を行う仕組みづくりを行いました。

イベントカレンダーや子育て電話相談チラシ、らいーな通信の作成・配布、インターネットを使った情報発信等も行いました。



調査研究

高知県教育委員会委託事業

学校安全の取組状況調査委託業務

防災を中心とした学校安全の推進にあたり、取組状況の把握・分析を踏まえた今後の効果的な施策に取り組むため、高知県内の公立・国立・私立の学校(園)405校における学校安全の取組状況に関する調査資料の回収業務を行い、集計結果を作成する業務を実施しました。

調査研究

自主事業

講師派遣事業

講師派遣事業は、NPO高知市民会議が保有する自主事業やNPO経営のノウハウを広く他地域に広めることを目的に2013年より開始しています。

2020年度は、8件の依頼があり講師を派遣しました。以下のテーマで講師派遣を行っております。(防災/ファンドレイジング/こどものまち/その他)事務局までお気軽にご相談ください。

市民活動サポートセンター

2020年度事業紹介 (2020.4-2021.3)

広報啓発

サポートセンター便りの発行

次月の催しや助成金情報、事業の報告コーナーを掲載した「サポセン」を毎月発行しています。

また、様々な活動や取り組みを紹介する「えぬぴいOh!」を年3回発行しています。



広報啓発

様々な広報媒体の活用による情報発信

様々な広報媒体を活用し、団体の取り組みを広く発信しています。HPの改善やSNSでの情報発信など、より多くの方に届ける工夫を行いました。

調査研究

企業とのパートナーシップ事業

企業の社会貢献活動やNPOとの連携のあり方を考えるとともに「企業市民セミナー」の企画・運営を行いました。



今年度は「コロナ禍での企業・NPO情報交換会」と題し開催しました。企業・学生・NPOなど13名が参加し、情報交換を行いました。

調査研究

ファンドレイジングプロジェクト



実践的なファンドレイジングの仕組みとして、新しい寄付のかたち「寄付ぎふと」を提案しました。

■お香典を社会に生かす「天国からの寄付ぎふと」
葬儀の時の香典返しを故人や遺族の意志に従って、NPOや社会貢献団体に寄付する、新しい「お返し」のかたちを提案しました。
(協力：寺村葬儀社)

■寄付つき飲食メニュー

「飲みもって 食もって 寄付ぎふと」

寄付つき飲食メニューをbar baffone、八金、草や、Teppan Diningミヤタヤ、もんちゅう、菊寿し本店、菊の和、ひよっこ寿し、プティ・ヴェール、da yoshi sushibarで通年実施し、総額257,270円がNPOへ寄付されました。

■寄付つき商品「お取り寄せで寄付ぎふと」

おうち時間を楽しむための商品や大切な方への贈り物を注文するたびに、高知県で活動しているNPOや社会貢献に取り組む団体を応援できる仕組みを期間限定で実施しました。

(協力：まるごと高知 Online Shop)



相談アドバイス

市民活動・まちづくり活動に関する相談アドバイス事業

市民活動やまちづくり活動をする上での相談・アドバイスを随時行っています。また、要望の実現に向けて、様々な情報提供、NPOや行政機関等とのコーディネートも行っています。

調査研究

こうちNPOフォーラム2020

NPO関係者や関心のある方たちが、活動分野や世代、立場の違いを越えて一堂に会し、NPOの社会的役割を再確認し、NPOの組織や活動の課題解決を行うとともに、団体相互の交流を深め合うことで、より一層ネットワークを広げていくことを目的に開催しました。

テーマは「変わるに変わらん!! 新たな高知のツクリカタ」。高知県内各地で活動している11団体がコロナ禍での活動内容をプレゼンテーションしました。

また、プレゼンテーションを行った団体で質問の多かった上位3団体が登壇し、ディスカッションを行いました。休憩時には県内各地の食を扱う団体がお菓子や飲みものを用意。オンライン配信も行い全国から視聴いただきました。



調査研究

市民とともに防災・減災のことを考える場の提供

「コロナ禍で災害が発生すればどのような状況に陥るか?」をテーマに2020年に発生した豪雨災害を例に、実際に被災地を訪れている2名の講師が実体験のリアルな報告を行いました。

「災害支援」「避難所状況」「避難所生活における車中泊支援」について講演を行った後、テーマごとに分かれ、内容の掘り下げ、意見交換を行いました。



人材育成

まちづくりトークcafé

高知のまちづくりについて自由に語り合う場として、多種多様なテーマで開催しました。

※4月～6月は新型コロナウイルスの影響で中止。

●まちづくりトークcafé話題/全9回 (タイトル一部略)
【7月】地域見守り訪問から始まる、町づくり【8月】高知発! 地域課題に挑戦するミレニアル世代の新コミュニティ【9月】「より良く生きる」を一緒に進もう!【10月】土佐備長炭と障がい者雇用【11月】100年時代をどう生きるか!!【12月】大学生を応援する交流カフェ学生空間One step【1月】4000人のまちづくりで考えること【2月】表情豊かなコミュニケーション【3月】地域に出会うお手伝い



人材育成

ボランティア・市民活動参加機会の提供

ボランティアガイダンス2020

「自分にあったボランティア活動を見つけない」と「ボランティアを募集したい団体」との出会いの場として開催しました。

10団体限定にして、広い会場で間隔を空けての開催でしたが、「コロナ禍だからこそ何かしたい」という働く世代の参加者がいつもより多く、個別相談の時間は最後までにぎわい、いろいろな形のマッチングが生まれ、活動の輪が広がりました。



調査研究

公益信託高知市まちづくりファンド運営

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、A～Dコースの募集が中止となり、最終発表会、公開審査会、中間発表会も中止となりました。「たまごコース」については実施し、3団体の助成が決定しました。

また、2019年度助成団体を対象に1月に開催した意見交換会では、活発な意見を多くいただき有意義な時間になりました。

高知市まちづくりファンドニュース「まちファン(35・36合併号)」では、2019年度こうちこどもファンド助成団体(Village Jamboree)にサポートセンターの取材を依頼し記事にしました。



調査研究

交通まちづくりの検討と実行に関する調査・研究

行政、交通事業者、NPOと連携しながら、公共交通の利便性向上と利用促進によるまちづくりを目的として「電車とバスで土佐さんぽ」を実施しました。

例年実施している「電車とバスで高知をうろちょろ」、「公共交通出前講座」は、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。



人材育成

社会を変える市民の学び舎

「土佐志民大学2020」

市民活動等の話題を切り口にする「公開講座」とNPOの活動で役立つスキルを学ぶ「スキルアップ講座」を開催しました。1限目「地方公立高校の休校対策」、2限目「社会を変える寄付や思いを繋げるファンドレイジング」、スキルアップ「zoom講座実践編」を開催しました。

また、オンラインで開催された「第6回コミュニティカレッジ・バックステージ」に参加し、情報交換を行いました。



人材育成

こどもが運営するまち

「とさっ子タウン2020」

「とさっ子タウン2020」は、新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。

「こどものまち勉強会」を開催し、改めてこどものまちやとさっ子タウン開催の意義について、実行委員や専門家と考えることができました。また、コロナ禍の他のこどものまちについて等、情報提供いただき、次年度に繋がる勉強会となりました。

中学3年生向け企画「おさらい会」を開催し、市民を卒業する中学3年生と交流することができました。次年度に対するアイデアもいただきました。

